

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

5-I-8

5-I-8

5-I-8	章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	児童・生徒への取組
	節	I. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立	事業主体	佐渡市社会教育課
	事業(施策)名	8 ジオパーク出前授業	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市学校教育課
	事業実施期間	H28~R4		
事業概要	【事業目的】	○島内の児童・生徒に佐渡金銀山を含む「ジオパーク」の正しい知識を分かりやすく紹介し、地元への関心を高め、郷土愛の醸成を図る。		
	【事業内容】	○島内小・中・高校生を対象に、佐渡金銀山を含む市内ジオサイトの巡検や授業を継続的に開催する。		
③0 事業計画と実績	【30年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中学校長会議及び佐渡市教育研究会において、金銀山の要素を含めたジオパークの活用についてのPRを行う。</li> <li>●各小中学校・高校からの依頼に基づき、ジオパーク推進指導員が学校に出向いて授業(説明)を行う。(概ね延べ30回程度。同一校での複数回実施も可)</li> </ul>		
	【30年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●佐渡市小学校教育研究会総合部会並びに理科教育センター主催の理科主任会において金銀山の要素を含めたジオパーク学習のPRを行った。</li> <li>●各小中学校からの要請に応じ、出前授業や現地見学を延べ30回実施し、そのうち10回は金銀鉱脈(石英脈)の特徴や形成過程等について説明を行った。</li> </ul>		
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校の出前授業における内容は、地学学習の一環であるため岩石学的な金銀鉱脈の説明になる。その内容を理解した上で開発の歴史の説明があれば、より深く金銀山を解釈できると思われる。</li> <li>■金銀鉱脈を説明する上で最適な場所は、大立堅坑周辺であり、遊歩道で鉱脈の実物を見ることができる。しかしながら現在その遊歩道が損壊し、現在立ち入り禁止となっている。早急な修繕が望まれる。</li> </ul>		
	【今後の取組】	■地学的な視点と歴史的な視点を連動させた授業展開ができるようにしたい。そのための指導計画および学習展開案の作成に取り組み、実践例を蓄積する。		
事業評価	【事業の達成度】	◇全体の開催数としては目標を達成できたが、佐渡金銀山に関する説明の機会は少なめであった。依頼内容が金銀山と関連しない、あるいはしにくい内容もあったためと思われる。		
	【事業実施の効果】	◇全体の開催数としては目標を達成できたが、佐渡金銀山に関する説明の機会は少なめであった。依頼内容が金銀山と関連しない、あるいはしにくい内容もあったためと思われる。		
	【総合評価】	◇全体の開催数としては目標を達成できたが、佐渡金銀山に関する説明の機会は少なめであった。依頼内容が金銀山と関連しない、あるいはしにくい内容もあったためと思われる。		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。